佐野市子ども・子育て支援事業計画 平成29年度実績報告書

第5章 次世代育成支援施策の取組

目 次

基本	目標1. 子どもが心身ともに健やかに育つための支援	1
1.	子どもへの虐待のないまちづくり	
2.	ひとり親家庭の自立支援	
3.	特別な支援を必要とする子どもへの対応	
4.	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進	
5.	子育てに対する経済的支援	
6.	子育てに対する支援体制の整備	
7.	子どもの居場所づくりの推進	
8.	子どもの貧困対策の推進	
基本	目標2. 親子のこころとからだの健康の確保と増進	7
1.	母子の健康づくりへの支援	
2.	子どもへの医療対策の充実	
3.	思春期保健対策の充実	
4.	食育の推進	
基本	目標3. 子どもの個性と創造性をはぐくむ環境整備	10
1.	家庭教育力の向上	
2.	次代の親の育成の推進	
3.	生きる力をはぐくむ学習環境の整備	
4.	信頼される学校づくり	
5.	子どもの健やかな体づくりの推進	
6.	子どもの芸術文化活動の支援	
7.	子どもの国内外交流の推進	
8.	子どもの社会的活動の支援	
基本	目標4. 子どもにやさしい安心・安全なまちづくり	13
1.	安心して子育てができる生活環境の整備	
2.	犯罪・交通事故等のない安全なまちづくりの推進	
3.	子どもを取り巻く有害環境対策などの推進	
基本	目標5. 子どもの人権擁護の推進	14
1.	人権教育の推進	
2	いじめ・不登校たどへの対応	

1. 子どもへの虐待のないまちづくり

施策名	施策内容	所属部署	各課の実施状況(平成29年度)	各課の実施状況(平成28年度)
家庭児童相談室運営事業	〇家庭における適正な児童の養育、その他家庭児童福祉の向上 を図るための相談、指導及び援助をします。	家庭児童相談室		家庭児童相談室では、家庭相談員3名を配置し、家庭での児童養育や人間関係(児童虐待を含む)、その他児童の福祉に関することについて相談に応じています。 児童相談状況 児童相談実件数(前年度からの継続相談を含む)100件 児童虐待相談実件数(新規相談分)24件
要保護児童対策地域協議会運 営事業	〇要保護児童対策地域協議会を開催し、虐待対応について関係機関と連携を図ります。 〇虐待を受けている児童や、養育支援を必要とする家庭を早期に発見して適切な支援を行います。	家庭児童相談室	代表者会議:1回実施、実務者会議:4回実施 個別ケース検討会議:18回実施 広報・啓発 要保護児童相談案内チラシ・虐待防止リーフレット配布(28,320部)、厚生労働省	会議(代表者会議委員21名、実務者会議委員22名) 代表者会議:1回実施、実務者会議:4回実施 個別ケース検討会議:21回実施 広報・啓発 要保護児童相談案内チラシ・虐待防止リーフレット配布(28,780部)、厚生労働省 作成ポスター配布(100部)、広報さの広報活動(年2回)
	〇年2回、定例困りごと・人権相談所(パレットプラザさの) 内において、子ども人権委員(人権擁護委員)による子ども人 権相談所を開設し、子どもの人権にかかわる問題(虐待、いじ め、不登校等)の相談に応じます。	人権・男女共同 参画課	2回実施(相談件数 0件) 7/20 男女共同参画推進センター 1/18 男女共同参画推進センター	2回実施(相談件数 0件) 7/21 男女共同参画推進センター 1/19 男女共同参画推進センター
子どもの人権尊重意識の高揚 を図るための街頭啓発事業	〇様々な人権問題とともに子どもの人権尊重意識の普及高揚を 図るため、街頭において啓発リーフレット・啓発物品を配布し ます。		7回実施 5/13、6/1、8/1、8/11、11/5、12/4、3/15	街頭啓発 7回実施 5/14、6/1、8/1、8/6、11/6、12/5、3/17 啓発リーフレット全戸配布 平成27年度で事業廃止 【廃止理由】 広報さの(8月号) へ掲載のため。

2. ひとり親家庭の自立支援

施策名	施策内容	所属部署	各課の実施状況(平成29年度)	各課の実施状況(平成28年度)
母子父子寡婦自立支援事業	し、相談に応じ、その自立に必要な情報提供及び指導を行います。 〇配偶者のない者で現に児童を養育しているもの及び寡婦に対し、職業能力の向上及び求職活動に関する支援を行います。 〇母子父子寡婦福祉資金貸付業務(県の業務)の相談・指導も 扱っています。	家庭児童相談室	母子父子自立支援員 2名 相談延べ件数(H29.4~H30.3) 貸付金 625件 その他 264件 計 889件	母子父子自立支援員 2名 相談延べ件数(H28.4~H29.3) 貸付金 724件 その他 274件 計 998件
児童扶養手当	○父母の離婚や死亡等によって父又は母と生計を同じくしていない児童や、父又は母が重度の障害の状態にある児童が、心身ともに健やかに育成されることを目的として支給される手当です。	こども課	延人数 金額 全部支給 5,439人 229,567,870円 一部支給 5,873人 171,278,590円 第2子加算 4,080人 37,655,790円 第3子以降加算 938人 5,387,420円	支給実績 延人数 金額 全部支給 5,538人 233,573,980円 一部支給 5,839人 171,246,720円 第2子加算 4,273人 27,191,070円 第3子以降加算 1,036人 4,000,660円
遺児手当	〇両親が死亡、または父・母のどちらかが死亡した児童を養育する人に対して児童一人につき、月額 3,000円支給します。	こども課	受給資格者数 98人 対象児童数 125人 支給実績 延人数 金額 県補助対象分 614人 1,842,000円 市単独分 630人 1,890,000円	受給資格者数 101人 対象児童数 138人 支給実績 延人数 金額 県補助対象分 781人 2,343,000円 市単独分 644人 1,932,000円
ひとり親家庭医療費助成	〇ひとり親家庭(父親、母親、両親のいない家庭など)の方で、満18歳に達する日以後の最初の3月31日までの児童を扶養している場合、児童と扶養している方の保険給付に係る一部負担金から薬局を除く医療機関ごとに月500円の自己負担を差し引いた金額を助成します。	こども課	助成件数 10,074件 医療給付費 25,066,010円	助成件数 9,699件 医療給付費 24,844,053円

3. 特別な支援を必要とする子どもへの対応

施策名	施策内容	所属部署	各課の実施状況(平成29年度)	各課の実施状況 (平成28年度)
	〇日常生活において常時の介護を必要とする重度の20歳未満 の障がい児に障害児福祉手当を支給することにより、福祉の増 進を図ります。			受給者数 46名 延べ支給月 538月 支給額 7,843,880円

1

施策名	施策内容	所属部署	各課の実施状況(平成29年度)	各課の実施状況(平成28年度)
特別児童扶養手当の受付	〇精神または身体に障がいを有する20歳未満の児童を監護している父母等について、児童の福祉の増進を図るため、特別児童扶養手当の受付を行います。	障がい福祉課	受給資格者数 215名 受給者内訳 支給額(月 人 数 1 級 51, 450円 139名 2級 34, 270円 76名 合計 — 215名	受給資格者数 234名 受給者内訳 支給額(月 人 数 1級 51,500円 144名 2級 34,300円 90名 合計 — 234名
難病患者等福祉手当 (小児慢性特定疾病)	〇原因不明で治療方法が確立されていない難病にり患した方に 特定疾患者福祉手当を支給することにより、福祉の増進を図り ます。	障がい福祉課	受給者数 110名 支給額 2,200,000円 平成28年度から当該年度の10月1日現在で小児慢性特定疾病の医療受給者証の交付を受けている者に対して、支給額3,500円/月が20,000円/年に改正になりました。	受給者数 103名 支給額 2,060,000円 平成28年度から当該年度の10月1日現在で小児慢性特定疾病の医療受給者証の交付を受けている者に対して、支給額3,500円/月が20,000円/年に改正になりました。
介護給付費	○障がいのある方が身近な地域で自立した生活が送れるよう、 介護系のサービスを利用します。 居宅介護 (ホームヘルプ) ・行動援護 短期入所 (ショートステイ)	障がい福祉課	支給決定者数 居宅介護(ホームヘルプ)188名 行動援護 6名 短期入所 24名	支給決定者数 居宅介護(ホームヘルプ)194名 行動援護 6名 短期入所 19名
障がい児通所給付	○発育・発達に支援を必要とする児童を対象に日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等を行います。	障がい福祉課	支給決定者数 児童発達支援 171名 放課後等デイサービス 202名 保育所等訪問 5名	支給決定者数 児童発達支援 153名 放課後等デイサービス 149名 保育所等訪問 5名
移動支援事業	〇障がいのある方が身近な地域で社会参加できるよう、外出の 支援を行います。	障がい福祉課	児童利用者数 4名 利用延べ時間数 126.5時間	児童利用者数 4名 利用延べ時間数 217時間
日中一時支援事業	〇日中、障がい福祉サービス事業所において、障がい者等の家族の就労を支援したり、または家族の一時的な休息のために、 見守り、社会に適応するための日常的な訓練などを行います。	障がい福祉課	児童利用者数 93名 利用延べ日数 5,316日	児童利用者数 94名 利用延べ日数 4,919日
訪問入浴サービス事業	〇施設通所による入浴や自宅での入浴が困難な障がい児の自宅 を訪問し、入浴サービスの費用を給付します。	障がい福祉課	児童利用者数 2名 支給額 2, 422, 850円	児童利用者数 2名 支給額 2, 184, 600円
補装具支給事業	〇身体機能を補い、日常生活や就学・就労をしやすくするため、補装具の購入または修理に要する費用の支給を行います。	障がい福祉課	児童利用者数 34件 支給額 4,965,198円	児童利用者数 35件 支給額 4,966,502円
日常生活用具給付等事業	〇在宅の障がいのある方に日常生活用具を給付することにより、日常生活上の便宜を図ります。	障がい福祉課	児童利用者数 246件 支給額 2,770,783円	児童利用者数 251件 支給額 2,746,958円
サポートファイルの作成・配 布	〇早期から就労に至る一貫した支援のために、子どもの成長や 発達の様子、相談記録などを保護者がファイリング、補完する ためのサポートファイルの作成、配布を行います。	障がい福祉課	配布数 85部	配布数 100部

施策名	施策内容	所属部署	各課の実施状況(平成29年度)	各課の実施状況(平成28年度)
	〇発達障がい児者が、社会生活や対人関係を営むために必要な知識と技能(ソーシャル・スキル)を身につけ、自己価値観や自尊心を確立できるよう支援します。	障がい福祉課		ソーシャルスキルトレーニングについては、児童発達支援及び放課後等デイサービス により実施したため、発達障がい児者本人支援事業の実施は見送りました。
発達障がい家族支援事業	〇主に発達障がいから来る児童の特性のために育てづらさを感じている家庭に対し、児童にどのようにかかわっていくかの養育技術を学ぶ場、地域で同じ悩みを持つ家族同士が出会う場、つながる場として学習会(ペアレント・サポート等)を実施します。	障がい福祉課	発達障がいのある児童の家族への支援について、佐野市内の専門の医師との共催による講演会を1回開催し、家族への支援を実施したため、発達障がい家族支援事業の実施は見送りました。	
児童補聴器購入費等支援事業	○身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度の難聴児 の補聴器購入費等の一部を助成します。	障がい福祉課		購入費補助 5件 10個 369,590円 修理費補助 0件 0個 0円
特別支援学級支援員配置事業	〇特別支援学級に支援員を配置し、児童生徒の自立に向けた支援を行います。 援を行います。	学校教育課	1中学校 1人 (小・中とも5時間/日、200日)	指導員配置数 8小学校 8人 2中学校 2人 (小・中とも5時間/日、200日)
すこやか保育(障がい児発達 支援)事業	〇心身に障がいを持ち保育に欠ける児童の保育を実施し、児童 の発達の支援と保護者の就労の支援を実施します。	保育課		公立15か所、私立9か所で実施 受入児童数 公立61人 私立19人

4. ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進

施策名	施策内容	所属部署	各課の実施状況(平成29年度)	各課の実施状況(平成28年度)
ママパパ学級事業	〇初妊婦及びその配偶者を対象に、保健師・助産師・栄養士による保健指導の他、夫婦で参加できる体験学習を実施します。	健康増進課	年24回(月2回) (人数:妊婦 延150人 配偶者等 延93人)	年24回(月2回) (人数:妊婦 延164人 配偶者等 延99人)
女性の再就職相談会の実施		参画課	通常相談(男女共同参画推進センター) 年12回 相談件数13件 特設相談 年3回 相談件数14件 6/22 南児童館 10/6 こどもの国 3/1 西児童館	通常相談(男女共同参画推進センター) 年12回 相談件数10件 特設相談 年3回 相談件数17件 5/26 東児童館 10/26 田沼児童館 3/10 こどもの国
女性の再就職セミナーの開催		参画課	働きたいママの再就職準備セミナー 7/25 男女共同参画推進センター 参加者6名	働きたいママの再就職準備セミナー 7/13 男女共同参画推進センター 参加者8名
父親対象の講座の実施		人権・男女共同 参画課	パパのためのベビーマッサージ講座(男女共同参画推進センター) 6/17 参加者27名	パパのためのベビーマッサージ講座(男女共同参画推進センター) 6/19・6/26(延べ44名) 12/4・12/11(延べ36名) 参加者合計14組(延べ80名)

5. 子育てに対する経済的支援

施策名	施策内容	所属部署	各課の実施状況(平成29年度)	各課の実施状況(平成28年度)
こども医療費助成	〇中学校修了までのこどもの医療費の一部負担金を助成します。平成27年度から未就学児は、県内医療機関で現物給付。小・中学生は、市内医療機関に限り現物給付。一部負担金を支払った場合は、償還払いで助成します。保護者の経済的・精神的負担の軽減をします。	こども課	助成件数と金額 未就学児 113,810件 187,662,844円 小学生 84,730件 168,717,066円 中学生 33,868件 73,523,616円 合計 232,408件 429,903,526円	助成件数と金額 未就学児 118,621件 199,382,761円 小学生 87,224件 175,895,805円 中学生 33,587件 74,595,633円 合計 239,432件 449,874,199円
児童手当	〇中学校修了前(15歳に到達した最初の3月)までの児童を養育している方に、年齢や所得に応じた手当を支給します。 3歳未満 月額 15,000円 3歳以上小学修了前 第1子・2子 月額 10,000円 第3子以降 月額 15,000円 中学生 月額 10,000円 所得超過者 月額 5,000円	こども課	支給実績	支給実績
子宝祝金支給事業	〇子どもの誕生を祝い、健やかな成長を願って、安心して子育てを行えるように、3人目以降の子どもを出生した場合、子宝祝金を支給します。 〇支給の対象は、第3子以降の子(以下「対象児」といいます。)の出産を行った者またはその配偶者で、条例等に掲げる要件のいずれをも満たす場合に支給します。支給金額は対象児1人につき10万円です。	こども課	128件 × 10万円 12,800,000円	118件 × 10万円 11,800,000円
第3子以降保育料免除事業		保育課	(2、3号給付費) 県補助対象児童数267人、延べ2,792月分の保育料 計64,772,300円を免除 (幼稚園就園奨励費)	(1号給付費) 県補助対象児童数47人、延べ496月分の保育料 計5,473,680円を免除 (2、3号給付費) 県補助対象児童数267人、延べ2,799月分の保育料 計64,752,850円を免除 (幼稚園就園奨励費) 県補助対象児童75人、延べ894月分の保育料 計9,314,700円を補助
私立幼稚園就園奨励費等補助 金	〇私立幼稚園児の保護者の経済的負担を軽減するため、私立幼稚園の設置者に対して経費の一部を補助し、保育料または入園料の減額または免除を行います。	保育課	保育料を減免した市内幼稚園6園に対し、総額97,268,600円(園児数757人・第3子以降保育料免除事業対象園児分を除く)を補助しました。	保育料を減免した市内7、市外5の幼稚園に対し、総額120,247,700円(園児数975人・ 第三子以降保育料免除事業対象園児分を除く)を補助しました。
私立幼稚園預かり保育補助金	○私立幼稚園児の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、 預かり保育料の一部を助成する。	保育課		預かり保育を実施した市内幼稚園・認定こども園計10園に対し、総額2,407,000円(園児数400人分)を補助しました。

6. 子育てに対する支援体制の整備

施策名	施策内容	所属部署	各課の実施状況(平成29年度)	各課の実施状況(平成28年度)
子育て支援情報の提供	〇母子健康手帳交付時や全戸訪問、乳幼児健康診査等において、子育て支援や制度の紹介などを行います。	健康増進課	赤ちゃんガイドブックなどを作成、配布している (赤ちゃんガイドブック 2,500部作成)	こどもの健康のしおりなどを作成、配布している (こどもの健康のしおり 印刷 3,000部)

7. 子どもの居場所づくりの推進

施策名	施策内容	所属部署	各課の実施状況(平成29年度)	各課の実施状況(平成28年度)
	〇放課後や週末の活動を中心に小学校の余裕教室等を活用して、地域の多様な方々の参画を得て、子どもたちと共に学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取り組みを実施します。	生涯学習課	放課後子ども教室数 (か所)	放課後子ども教室数 (か所)

施策名	施策内容	所属部署	各課の実施状況(平成29年度)	各課の実施状況(平成28年度)
こどもの国運営事業	快適に利用し、かつ健全な遊びを通して、こどもたちの情操を育み親子で楽しめる事業を企画し、実施します。		1. 企画事業 - こどもフェスティバルinSAN02017 実施日: H29年5月3日~5日 参加者数: 10,570人 - レクリンピック 実施日: H29年10月15日 参加者数: 504人 - 愉快なクリスマスコンサート 実施日: H29年12月24日 参加者数: 985人 - 新春正月遊び大会 実施日: H30年1月8日 参加者数: 788人 2. 開設講座 - 手作りおもちゃ遊び教室など24講座 開催日数: 39日 参加人数: 1,512人 3. そのほかの事業の開催 - こどもの国消防訓練、果実収穫体験教室など16講座 開催日数: 143日 参加人数: 10,979人	1. 企画事業 ・こどもフェスティバルinSAN02016 実施日: H28年5月3日~5日 参加者数: 9,852人 ・レクリンピック 実施日: H28年10月16日 参加者数: 1,390人 ・愉快なクリスマスコンサート 実施日: H28年1月25日 参加者数: 1,217人 ・新春正月遊び大会 実施日: H29年1月9日 参加者数: 1,562人 2. 開設講座 ・手作りおもちゃ遊び教室など18講座 開催日数: 29日 参加人数: 1,729人 3. そのほかの事業の開催 ・こどもの国消防訓練、果実収穫体験教室など12講座 開催日数: 240日 参加人数: 14,747人
児童館運営事業	〇児童の健康を増進し情操を豊かに育てる目的で各種教室や四季の行事などの遊びを提供します。また、子育て教室、子育て相談などの開催による子育て支援を推進します。	こども課	市内4児童館 (南、東、西、田沼)が、地域の中で安全で楽しい遊び場であることを 住民に理解を得、活用してもらうため、幼児・児童や保護者のための活動を行ってい ます。	
			開館日数:321日 来館者合計:16,438人 子育て教室:毎週月曜日実施 34回 ボランティアの状況:成人ボランティア 1人 運営委員会:運営委員 12人	〈南児童館〉 開館日数: 321日 来館者合計: 13,944人 子育て教室: 毎週月曜日実施 35回 ボランティアの状況:成人ボランティア 1人 運営委員会:運営委員 11人 こども運営委員 15人
			開館日数: 321日 来館者合計: 21,718人 子育て教室: 毎週木曜日実施 43回 ボランティアの状況:成人ボランティア 0人 運営委員会: 運営委員 12人	〈東児童館〉 開館日数: 321日 来館者合計: 22,733人 来館者合計: 28,733人 予育て教室: 毎週木曜日実施 35回 ボランティアの状況: 成人ボランティア 1人 運営委員会: 運営委員 12人 こども運営委員 38人
			来館者合計:8,042人 子育て教室:毎週火・金曜日実施 71回 ボランティアの状況:成人ボランティア 1人	〈西児童館〉 開館日数:321日 来館者合計:13,088人 子育て教室:毎週火・金曜日実施 75回 ボランティアの状況:成人ボランティア 1人 運営委員会:運営員 11人 こども運営委員 28人
			会館日数:321日 来館者合計:13,201人 子育て教室:毎週月曜日、第2、第4水曜日 55回 ボランティアの状況:成人ボランティア 0人 運営委員会:運営委員 13人 こども運営委員 17人	〈田沼児童館〉 会館日数: 321日 来館者合計: 11, 787人 子育て教室: 毎週月曜日、第2、第4水曜日 51回 ボランティアの状況: 成人ボランティア 0人 運営委員会: 運営委員 12人 こども運営委員 16人
民間児童館運営委託事業	〇地域における健全育成の拠点である児童館事業を民間児童館 に委託し、当該地域の児童の健全育成を推進します。	こども課	設置者:社会福祉法人 つめくさ会 開設年月日:平成15年4月1日 開設場所:佐野市高萩町1319-1 開館日数:296日	事業委託先:児童館はらっぱ(あおぞら学童保育所併設) 設置者:社会福祉法人 つめくさ会 開設年月日:平成15年4月1日 開設場所:佐野市高萩町1319-1 開館日数:305日 来館者数:21,278人

8. 子どもの貧困対策の推進

施策名	施策内容	所属部署	各課の実施状況(平成29年度)	各課の実施状況(平成28年度)
母子家庭等自立支援給付金給 付事業	〇母子家庭の母及び父子家庭の父が、就職に有利な資格取得のために養成訓練を受講する場合の生活負担を軽減するために、修業期間中、高等職業訓練促進給付金を支給し、養成訓練を修了した場合に高等職業訓練修了支援給付金を支給します。高等職業訓練促進給付金:非課税世帯 月額100,000円、課税世帯 月額 70,500円 高等職業訓練修了支援給付金:非課税世帯 50,000円、課税世帯 25,000円	家庭児童相談室	高等職業訓練促進給付金 ・利用者数 8人 ・支給総額 7,946,000円 高等職業訓練修了支援給付金 ・利用者数 7人 ・支給総額 325,000円	高等職業訓練促進給付金 ・利用者数 9人 ・支給総額 10,387,000円 高等職業訓練修了支援給付金 ・利用者数 1人 ・支給総額 25,000円
学習支援事業	〇学習の機会に恵まれない生活困窮世帯の子どもに対し、学習 の場や機会を提供し、学力向上や家庭学習の習慣づけ、高等学 校への進学を支援することにより貧困の連鎖を防止します。	社会福祉課	学習支援 事業委託先:社会福祉法人とちのみ会 委託料:2,512,000円 月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 計 開催日数 8 7 9 8 10 9 8 8 9 8 8 100 参加延べ人数 31 29 106 102 130 121 118 118 117 93 105 84 1154	学習支援 事業委託先: 社会福祉法人とちのみ会 委託料: 2,512,000円
就学援助	〇学校教育活動において、経済的に支障をきたしている小中学生の保護者に対して、給食費・学用品費等を支給する。また、特別支援学級に在籍している児童生徒の保護者に対して所得額に応じて、給食費・学用品費等の一部を支給する。	学校教育課	佐野市就学援助費支給要綱に基づき、保護者からの申請により要援助者を認定しています。 ・給食費、学用品費、医療費等の支給 認定児童生徒数:小学生 273人、中学生 152人	佐野市就学援助費支給要綱に基づき、保護者からの申請により要援助者を認定しています。 ・給食費、学用品費、医療費等の支給 ・認定児童生徒数: 小学生 189人、中学生 130人
佐野市児童生徒入学支度金	〇小中学校及び特別支援学校新入学生を養育する者に対し入学 支度金を支給することにより、児童生徒の就学に係る負担金の 軽減を図る。	学校教育課	平成28年度で事業廃止。 ※廃止理由:上記の就学援助制度認定基準額を引き上げることで、支給対象者の拡大 を図ったため。	入学支度金支給状況 ・支給額 小学生 11,000円、中学生 15,000円 ・支給人数 小学生 37人、中学生 31人
佐野市奨学生制度	〇教育の機会均等の趣旨に基づき、経済的理由により高等学校、大学等に修学することが困難である方に、佐野市育英基金、佐野市徹心・隨心育英基金、佐野市トクフミ育英基金を活用して学資を貸与します。	教育総務課	貸与者数 高校 4人 1,060,000円 大学等 127人 73,150,000円 合計 131人 74,210,000円	貸与者数 高校 5人 1,200,000円 大学等 127人 72,620,000円 合計 132人 73,820,000円
自立相談支援事業	〇生活困窮者が生活保護に至る前に、困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状況に応じた包括的かつ継続的な相談を実施し早期自立を促進します。		自立支援 事業委託先:社会福祉法人佐野市社会福祉協議会 委託料:14,862,975円 新規相談受付 プラン作成 住居確保給付金 就労者数 相談・支援延件数 155件 34件 2件 23人 1,629件 ※ 就労者数の内訳 一般就労19人/その他 作業所等4人	自立支援 事業委託先:社会福祉法人佐野市社会福祉協議会 委託料:14,885,743円 新規相談受付 ブラン作成 住居確保給付金 就労者数 相談·支援延件数 93件 45件 8件 37人 1,295件
住居確保給付金	〇離職者であって就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅 を喪失している者又は喪失のおそれのある者に対し、有期で家 賃相当額の給付金を支給します。	社会福祉課	住居確保給付金 相談件数 住宅喪失 申請者 決定者 2件 0件 0件 2件	住居確保給付金 住宅喪失 住宅喪失のおそれ 相談件数 申請者 決定者 18件 0件 0件 7件

基本目標2. 親子のこころとからだの健康の確保と増進

1. 母子の健康づくりへの支援

施策名	施策内容	所属部署	各課の実施状況(平成29年度)	各課の実施状況(平成28年度)
西宋石 母子健康手帳交付事業	施泉内谷 ○母と子の一貫した健康管理と健康の保持増進のため、母子健康手帳を交付しています。必要に応じ、外国語版(8か国語)母子健康手帳を交付します		819冊 ※うち外国語版29冊 (交付内訳 妊娠届出時793冊、再交付13冊、双胎13冊)	各議の美施状況 (千成28年度) 864冊 ※うち外国語版25冊 (交付内訳 妊娠届出時837冊、再交付13冊、双胎14冊)
妊産婦医療費助成事業	〇妊産婦(妊娠の届出をした月の初日から出産した翌月の末日 までに間)の方の保険給付に係る一部負担金を助成します。	こども課	助成件数 7, 225件 医療給付費 31, 803, 980円	助成件数 7, 128件 医療給付費 33, 777, 330円
未熟児養育医療費給付事業	〇養育のために指定医療機関に入院を必要とする 1 歳未満の未熟児に対し、養育に必要な医療を給付します。	こども課	助成件数 72件 医療給付費 7, 553, 820円	助成件数 72件 医療給付費 7,676,787円
乳児健康診査事業	〇疾病や障がいの早期発見・早期対応、育児支援を図るため、 4か月児及び9か月児を対象に成長段階に合わせた乳児健康診 査を実施します。	健康増進課	4か月児 39回 804人 9か月児 39回 850人	4か月児 39回 846人 9か月児 40回 831人
幼児健康診査事業	〇疾病や障がいの早期発見・早期対応、育児支援を図るため、 1歳6か月児及び3歳児を対象に成長段階に合わせた乳児健康 診査を実施します。	健康増進課	1歳6か月児 38回 822人 3歳児 38回 846人	1歳6か月児 38回 845人 3歳児 38回 865人
股関節脱臼健診事業	〇生後3~4か月の乳児を対象に股関節部X線検査を実施し、 疾病の早期発見に努めます。	健康増進課	24回 807人	24回 813人
発達支援事業	〇発達に不安を持つ保護者や子どもを対象に、子どもの発達段階にあったかかわりが理解でき、保護者の心の安定と子どもの発達を促すことを目的に、教室を実施します。	健康増進課	21回 延150組	21回 延162組
のびのび発達相談事業	〇発達障がい児の早期発見や適切な支援を行うことを目的に、 5歳児を対象に発達相談を行います。	健康増進課	891人 (幼稚園12園・保育園19園)	954人 (幼稚園12園・保育園19園)
母子健康相談事業	〇育児力の向上及び育児不安の軽減を図るため、子育で中の親子を対象に専門職による相談事業等を行います。また、必要に応じ、育児不安の強い保護者に対し、こころの相談を行います。	健康増進課	保健センターの育児相談 24回 延1,156人 赤ちゃんふれあいルーム 24回 延1,009人 子育てこころの相談 延74人	保健センターの育児相談 24回 延1,099人 赤ちゃんふれあいルーム 24回 延1,134人 子育てこころの相談 延47人
保健指導事業(訪問・面接・ 電話)	す。 〇母子の健康管理や育児不安の軽減、育児状況の把握や保健指導のため、訪問や面接、電話により保健指導を行います。	健康増進課	児97件、その他31件)	面接 延930件 訪問 延2,052件(妊婦19件、産婦937件、新生児105件、未熟児125件、乳児742件、幼児99件、その他25件) 電話 延1,765件

基本目標2. 親子のこころとからだの健康の確保と増進

施策名	施策内容	所属部署	各課の実施状況(平成29年度)	各課の実施状況(平成28年度)
歯科保健事業	〇歯科保健向上のため、乳幼児健康診査での歯科健診・相談の ほか、歯の健康相談等を実施します。	健康増進課	歯科健診(歯科医師):1歳6か月・3歳児健診受診児 歯科指導(歯科衛生士):9か月・1歳6か月児健診受診児(集団)・3歳児健診受 診児(必要時、個別相談) 3歳児よい歯のコンクール応募:3歳児 16人・親と子 2組	歯科健診(歯科医師):1歳6か月・3歳児健診受診児 歯科指導(歯科衛生士):9か月・1歳6か月児健診受診児(集団)・3歳児健診受 診児(必要時、個別相談) 3歳児よい歯のコンクール応募:3歳児 12人・親と子 1組
乳幼児·児童生徒予防接種事 業	〇子どもの健康を守るため、法に基づく定期の予防接種等を行います。	健康増進課	定期予防接種 四種混合 3,339件 水痘 1,509件 不活化ポリオ 64件 B C G 833件 麻しん・風しん 1,709件 二種混合 871件 日本脳炎 3,641件 子宮頸がん 12件 ヒブワクチン 3,274件 小児用肺炎球菌 3,281件 日本脳炎 3,274件 小児用肺炎球菌 3,281件 日本財子 (128.10~) 2,516件 日本リックス(1価) 759件 ロタテック(5価) 1,004件	定期予防接種 1,561件 四種混合 3,374件 水痘 1,561件 不活化ポリオ 131件 BCG 821件 麻しん・風しん 1,744件 二種混合 906件 日本脳炎 3,997件 子宮頸がん 11件 ヒブワクチン 3,360件 小児用肺炎球菌 3,345件 B型肝炎(H28.10~) 1,325件 任意予防接種 ロタリックス(1価) 701件 ロタテック(5価) 1,086件
不妊治療費助成事業	〇子どもを望む夫婦に対し、医療保険適用外の不妊治療費の一部を助成します。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	健康増進課	114件交付 10,988,000円	124件交付 12,538,100円
不育治療費助成事業	〇子どもを望む夫婦に対し、医療保険適用外の不育症治療費の 一部を助成します。	健康増進課	平成29年度申請なし	平成28年度申請なし
ブックスタート事業	○9か月児健診時等において、親子で本に親しむきっかけづくりのため、読み聞かせの大切さ等を説明し、読み聞かせの実演後、絵本をプレゼントします。	健康増進課	9 か月児健診時 850人 訪問等で配布 5人	9か月児健診時 831人 訪問等で配布 11人
各関係機関との連携	〇保健、医療のみならず福祉や教育等さまざまな分野との連携・協力のもと総合的、効果的な母子保健事業の推進を図ります。	健康増進課	市医との打合せ会(2月1回)、養護教諭会議、就学指導委員会等への出席のほか、随時関係機関との連携を図っています。	市医との打合せ会(2月1回)、養護教諭会議、就学指導委員会等への出席のほか、随時関係機関との連携を図っています。

2. 子どもへの医療対策の充実

施策名	施策内容	所属部署	各課の実施状況(平成29年度)	各課の実施状況(平成28年度)
営支援事業	夜間緊急診療所の運営費補助を行うことにより、医療体制の推 進を図ります。		32, 000, 000円	佐野休日・夜間緊急診療所への運営支援事業補助金として 32,000,000円
推進事業	す。		58, 114, 000円	両毛救急医療圏二次救急医療分担金として 17, 274, 000円
	〇佐野市休日歯科診療所の運営補助を行うことにより、休日に おける歯科診療の不安の解消を図ります。	健康増進課		佐野休日歯科診療所への運営支援事業交付金として 4,000,000円

基本目標 2. 親子のこころとからだの健康の確保と増進

施策名	施策内容	所属部署	各課の実施状況(平成29年度)	各課の実施状況(平成28年度)
こども医療費助成事業	○中学校修了までの保険給付に係る一部負担金を助成します。	こども課	こども医療費 助成件数 232,408件 医療給付費 429,903,526円	こども医療費 助成件数 239,432件 医療給付費 449,874,199円

3. 思春期保健対策の充実

施策名	施策内容	所属部署	各課の実施状況(平成29年度)	各課の実施状況(平成28年度)
思春期保健事業	〇小・中学生を対象に生命の尊重や性に関する知識の普及を図るために学校保健等との連携による事業や思春期相談を行います。	健康増進課	性に関する専門医等による指導 講話 8校 825人 保健教材の貸出し なし ふれあい体験・生と性に関する講話 体験学習 5校 325人 講話 3校 185人 保健教材の貸出し 9件	性に関する専門医等による指導 講話 9校 982人 保健教材の貸出し なし ふれあい体験・生と性に関する講話 講話 7校 666人 保健教材の貸出し 7校

4. 食育の推進

施策名	施策内容	所属部署	各課の実施状況(平成29年度)	各課の実施状況(平成28年度)
栄養相談事業	○ママパパ学級や乳幼児健康診査等での栄養指導・相談及び関係機関との連携により食育の推進を図ります。		栄養指導・相談 全乳幼児健診に栄養士を配置し必要時個別相談実施。 4か月児・3歳児健診では集団指導を実施。 ママパパ学級において栄養指導実施。 保健センター育児相談において個別相談実施。	栄養指導・相談 全乳幼児健診に栄養士を配置し必要時個別相談実施。 4か月児・3歳児健診では集団指導を実施。 ママパパ学級において栄養指導実施。 保健センター育児相談において個別相談実施。
食育推進事業	〇保育所や学校給食への取組の充実(旬を知る、安全な食材、地場野菜の導入)を始め、食に関する学習や情報提供に取り組みます。また、妊産婦には各教室等で食生活の改善に向けた学習の機会や情報提供に努めます。	農政課	・食育推進会議を開催し、食育関係課(保育課・健康増進課・学校教育課・学校給食課)や食育関係団体と連携を図りました。 ・食生活改善、食育の大切さに関する食育講演と調理実演を実施しました。	・食育推進会議を開催し、食育関係課(保育課・健康増進課・学校教育課・学校給食課)や食育関係団体と連携を図りました。 ・食品ロスに関する食育講演会を開催しました。

基本目標3. 子どもの個性と創造性をはぐくむ環境整備

1. 家庭教育力の向上

施策名	施策内容	所属部署	各課の実施状況(平成29年度)	各課の実施状況(平成28年度)
家庭教育推進講座開催事業	〇子どもをもつ保護者等を対象に、家庭における教育力の向上 を目指し、家庭教育に関する講座や情報提供、研修会を開催し ます		園児、児童を持つ保護者を対象に、家庭教育について学ぶ講座を開催し、65人が参加しました。 家庭教育推進出前講座の開催 すべての保護者を対象に、小学校や幼稚園・保育園等で家庭教育について学ぶ講座を	家庭教育推進講座の開催 園児、児童を持つ保護者を対象に、家庭教育について学ぶ講座を開催し、65人が参加 しました。 家庭教育推進出前講座の開催 すべての保護者を対象に、小学校や幼稚園・保育園等で家庭教育について学ぶ講座を 全14回開催し、410人が参加しました。
公民館親と子の交流活動	〇子どもの情操を豊かにし、心身の健全な成長を図り、親と子 の心の交流と連帯を深めるため読書活動、各種学習のグループ 活動を行います。	公民館管理課	主に5~8才の子どもとその保護者を対象として、講話・実技・体験等の活動を実施しました。 「親と子のふれあい活動」 会場:佐野市中央公民館 回数:8回 参加者延人数:親181人 子211人 計392人	主に5~8才の子どもとその保護者を対象として、講話・実技・体験等の活動を実施しました。 「親と子のふれあい活動」 会場:佐野市中央公民館 回数:8回 参加者延人数:親171人 子221人 計392人

2. 次代の親の育成の推進

施策名	施策内容	所属部署	各課の実施状況(平成29年度)	各課の実施状況(平成28年度)
	〇中学2年生が地域の事業所等において、3日間の職場体験等を行い、地域の人々とのかかわりを主とした社会体験活動を行います。		市内中学校9校の2年生999名が、各事業所での職場体験等を実施しました。	市内中学校9校の2年生930名が、各事業所での職場体験等を実施しました。

3. 生きる力をはぐくむ学習環境の整備

施策名	くも学音環境の金伽 施策内容	所属部署	各課の実施状況(平成29年度)	各課の実施状況(平成28年度)
海の自然体験活動推進事業	○主に小学校5年生が栃木県立とちぎ海浜自然の家を利用して 自然の中で2泊3日の集団宿泊学習を行い、心身の調和のとれ た健全な児童の育成を図ります。		市内小学校23校の主に5年生が2泊3日の宿泊学習を実施しました。	市内小学校23校の主に5年生が2泊3日の宿泊学習を実施しました。 参加者 主に5年生 1013名
修会開催事業	〇子ども会において中心的な役割を担う小学校5・6年生を対象に、集団での宿泊生活や野外体験等を通して、ジュニアリーダーとしての知識や技術を学ぶことにより、子ども会活動の活性化と進展を図ります。	生涯学習課	会場 作原野外活動施設 対象 小学5年生~6年生	実施日 H28.6.18~19 (1泊2日) 会場 作原野外活動施設 対象 小学5年生~6年生 参加者数 34名 内容 KYT演習、レクリエーション実習、キャンプファイヤー等
	〇植野、葛生、氷室、三好小学校並びに常盤、田沼西中学校の 遠距離通学児童・生徒の送迎を行います。		学校の統廃合により、通学距離が小学校は4km以上、中学校は6km以上の児童・生徒に対して登下校の際にスクールバスを運行しています。 路線は、9路線 (小学校4路線、中学校5路線) 植野小―船津川線 葛生小―会沢線、氷室小―秋山線、 三好小―野上線 常盤中一秋山線、 田西中―野上線、下彦間線、飛駒線、関馬線平成29年度実績 学校名 人数 値野小 12 葛生小 11 水室小 8 三好小 26 常盤中 20 田西中 105 合計 182	学校の統廃合により、通学距離が小学校は4km以上、中学校は6km以上の児童・生徒に対して登下校の際にスクールパスを運行しています。路線は、8路線(小学校3路線、中学校5路線) 葛生小―会沢線 氷室小―秋山線、三好小―野上線 常盤中―秋山線、田西中―野上線、下彦間線、飛駒線、閑馬線平成28年度実績 学校名 人数
小中学校特別非常勤講師配置 事業	〇小中学校の教科等に関する専門的知識・技能を有し、教育に 熱意のある講師を配置し、教員と協力し合いながら、教科、道 徳、小学校における英語活動の授業を行い、知識や技能の向上 や豊かな人間性を身に付けるための支援をします。	学校教育課	教科、道徳、総合的な学習の時間、小学校英語活動等を指導する特別非常勤講師31 人を配置しました。	教科、道徳、総合的な学習の時間、小学校英語活動等を指導する特別非常勤講師31 人を配置しました。

基本目標3. 子どもの個性と創造性をはぐくむ環境整備

施策名	施策内容	所属部署	各課の実施状況(平成29年度)	各課の実施状況(平成28年度)
業	〇外国青年英語指導助手(ALT)が各小中学校を訪問し、日本人教師と共同で英語の授業を行います。児童生徒の興味・関心を高め、「聞く」「話す」などの英語によるコミュニケーション能力の向上を図ります。	学校教育課	12名の外国青年英語指導助手(以下ALT)が各小中学校を訪問し、教員と共同で英語の授業を行いました。小学校では、ALTとの楽しい英語活動を通して、英語に触れ、外国の文化に親しみました。中学校では、ALTとの「聞く」「話す」ことを中心とした学習活動を通して、英語によるコミュニケーション能力の向上に努めました。	英語の授業を行いました。小学校では、ALTとの楽しい英語活動を通して、英語に 触れ、外国の文化に親しみました。中学校では、ALTとの「聞く」「話す」ことを
	〇佐野市における心の教育推進事業の一つとして、小中学校に 教育指導員を配置し、不安や悩みを抱えた児童生徒や特別な教 育的支援が必要な児童生徒に対し、教育相談や学校での活動の 支援を通して、健全な心の育成や特別支援教育の充実を図りま す。	学校教育課	指導員配置数 26小学校 45人 (5時間勤務/日、200日) 9中学校 14人 (6時間勤務/日、200日)	指導員配置数 27小学校 46人 (5時間勤務/日、200日) 9中学校 14人 (6時間勤務/日、200日)
	〇佐野市における心の教育推進事業の一つとして、小中学校の 児童生徒の心身の健康にかかわる問題や保健教育活動全般にわ たり、養護教諭の補助的な役割を担う健康指導員を配置して、 保健教育活動の一層の充実を図ります。	学校教育課	指導員配置数 7小学校 7人 1中学校 1人 (小・中とも5時間勤務/日、200日)	指導員配置数 6小学校 6人 2中学校 2人 (小・中とも5時間勤務/日、200日)
	〇児童生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレス等を和らげること のできる第三者的な存在となり得る「心の教室相談員」を市内 の小・中学校に配置し、生徒が心のゆとりを持てるような環境 をつくります。	教育センター	(常盤中、植野小、城北小、田沼小)	相談員配置 1中学校、3小学校 (常盤中、植野小、城北小、田沼小) 勤務 5時間/日、週3日を基本に年間105日

4. 信頼される学校づくり

施策名	施策内容	所属部署	各課の実施状況(平成29年度)	各課の実施状況(平成28年度)
学校評議員制度推進事業	〇小中学校ごとに、校長の推薦により学校評議員を5人~7人配置します。学校評議員は、当該学校の教育目標、教育課程、教育活動、地域との連携等学校運営に関する事項について、校長の求めに応じて意見を述べ、知・徳・体のバランスのとれた教育活動の推進を支援します。	学校教育課	小中学校に178名の学校評議員を委嘱しました。各学校で学校評議員会を開催するなどして意見を聞き、学校運営に活用しました。	小中学校に187名の学校評議員を委嘱しました。各学校で学校評議員会を開催するなどして意見を聞き、学校運営に活用しました。

5. 子どもの健やかな体づくりの推進

施策名	施策内容	所属部署	各課の実施状況(平成29年度)	各課の実施状況(平成28年度)
		進課	平成29年度スポーツ教室開催実績 教室名 参加者数(人) 子ども 大人 ソフトテニス 102 わんぱく陸上 66 パレーボール 7 弓道 卓球 48 テニス ゴルフ 7 8 わんぱくスキー 30 サッカー 6 乗道 6 剣道 12 総合型がドミントン 5 総合型おとなのスポルト - 合計 284	平成28年度スポーツ教室開催実績 教室名 参加者数(人) 子ども 大人 ソフトテニス 60 13 わんぱく陸上 76 — バレーボール 15 — 弓道 2 8 卓球 35 — テニス — 23 ゴルフ 4 12 わんぱくスキー 29 4 サッカー 3 — 柔道 13 — 剣道 11 — 総合型スポーツ塾 6 — 合計 285 60
作原野外活動施設指定管理事業	○スポーツやレクリエーションを通して、市民の健康と体位の 向上並びに青少年の健全育成をはかる施設として開設します。	生涯学習課		開設期間 H28.4.15~11.15 利用者数 3,915人

基本目標3. 子どもの個性と創造性をはぐくむ環境整備

6. 子どもの芸術文化活動の支援

施策名	施策内容	所属部署	各課の実施状況(平成29年度)	各課の実施状況(平成28年度)
アストロカー運営事業	〇天体観測車アストロカー「シリウス」を活用して、児童館や こどもの国のイベント等で天体観測会を実施します。	こども課	観測会:15回 活動内容:月と星座及び太陽黒点の観測など 参加人数:5,531人	動く天文台アストロカー「シリウス」で児童館や総合こどもセンター等を会場に観測会を行っている。 観測会:20回 活動内容:月と星座及び太陽黒点の観測など 参加人数:7,003人 講師:宇宙少年団指導者及び補助者
図書館等指定管理事業	〇おはなし会をはじめ、様々な行事をとおして、読書のきっかけをつくり、読書習慣の育成を図ります。また、読書をとおして、子どもの豊かな感性を育てます。	生涯学習課	・ブックスタートへの協力 延べ51回 ・小さな子のおはなし会(0~3歳) 延83回 1,100人 ・おはなし会(児童・幼児)延べ105回 968人 ・その他のおはなし会・工作会等 延べ14回 930人 ・図書館ビンゴ 4月23日~5月14日 533人 ・子ども映画会 1回 50人 ・川端誠絵本ライブ&講演会 2月26日 144人 ・図書館利用推進事業 20校(保育園も含む) 483人 ・読書感想画の募集と展示 178点 ・小学生対象の司書体験 27人	・ブックスタートへの協力 延べ52回 ・小さな子のおはなし会(0~3歳) 延81回 1,201人 ・おはなし会(児童・幼児)延べ101回 833人 ・その他のおはなし会・工作会等 延べ19回 727人 ・おみくじ読書 4月23日~5月12日 915人 ・子ども映画会 2回 34人 ・子ども本のセミナー 2月26日 「やってみよう!パントマイム」 参加者29人 ・図書館利用推進事業 25校(保育園も含む) 666人 ・読書感想画の募集と展示 128点 ・小学生対象の司書体験 32人
学校利用推進事業	〇市内の小学校3・4・6年生が、学習進度に合わせて郷土博物館の展示資料を見学し、学習の効果を高めるとともに、郷土に対する理解を深めます。	郷土博物館	田中正造展示室や昔の道具の見学、スライド視聴、石皿での木の実つぶしやマイギ リによる火起こし体験等を行いました。 実施校学年人数(クラ 市内26校3年生897人(41) 市内26校4年生985人(39) 市内26校6年生1010人(40)	田中正造展示室や昔の道具の見学、スライド視聴、石皿での木の実つぶしやマイギ リによる火起こし体験等を行いました。 実施校学年人数(クラ 市内26校3年生981人(39) 市内27校4年生944人(38) 市内27校6年生1,023人(42)

7. 子どもの国内外交流の推進

施策名	施策内容	所属部署	各課の実施状況(平成29年度)	各課の実施状況(平成28年度)
	〇佐野小学校内に佐野市日本語教室を設置し、外国人児童生徒が日本の生活習慣や学校生活にスムーズに適応できるように指導・支援するとともに、母国の文化や言葉、歴史などに誇りがもてるよう、日本の児童生徒に紹介する機会を設定したり、個人面談等を行ったりします。		日本語指導教室の指導員は、外国人児童生徒教育拠点校4校への巡回指導も行い、	佐野小では、8名の児童生徒が、他の小学校から4名の通級者が日本語教室での指導を受けました。 日本語指導教室の指導員は、外国人児童生徒教育拠点校4校への巡回指導も行い、 外国人児童生徒の指導・支援や通知の翻訳活動等に当たりました。
	○茶釜の産地として共通の文化を持つ福岡県芦屋町と本市の青少年が、様々な交流を通して互いの文化や歴史を学ぶとともに、社会性・協調性を養います。		※平成29年度の交流事業は台風5号の影響のため中止となったため、代替えとして 発表会を佐野市単独で実施しました。 〈発表会の実施状況〉 実施日 8月28日(月) 会場 佐野市役所 市民活動スペース 対象 小学5年生~中学2年生 参加者数 20名 内容 お茶会体験、佐野市の紹介発表	実施日 H28.8.8~10 (2泊3日) 会場 佐野市 対象 小学5年生~中学2年生 参加者数 佐野市24名 芦屋町18名 内容 鋳物づくり・子どもサミット・佐野ぐるめぐり・耳うどんづくりほか

8. 子どもの社会的活動の支援

施策名	施策内容	所属部署	各課の実施状況(平成29年度)	各課の実施状況(平成28年度)
	〇高齢者との交流を通し高齢者に対する理解を深め、敬老意識の醸成を図るとともに、高齢者も子供との交流を通し生きがいのある生活が送れるようにします。 三世代交流グラウンドゴルフ大会、ゲートボール大会、輪投げ大会、ゲーム大会、運動会などを開催します。 (佐野シニアクラブ連合会に委託)			佐野シニアクラブ連合会に委託。多くの老人クラブに協力をいただき輪投げ大会、グラウンドゴルフ大会、レクリエーション等を実施しました。 参加総数 3475名(老人クラブ10支部で開催) 内訳 幼児・児童 2850名 保護者 392名 老人クラブ 233名

基本目標4. 子どもにやさしい安心・安全なまちづくり

1. 安心して子育てができる生活環境の整備

施策名	施策内容	所属部署	各課の実施状況(平成29年度)	各課の実施状況(平成28年度)
園維持管理事業	○公園で児童が安心して遊べるよう、遊具の安全点検や施設点検を行います。	都市整備課	(1)遊具の点検及び修繕 ・遊具の点検 定期的に実施 ・遊具の修繕 随時実施 (2)防犯点検の結果による改善 周りから公園の中が見渡せ、「死角」のない公園にする。 ・市で改善できるもの(低木剪定等) ・業者委託で改善できるもの(高木剪定等)	(1)遊具の点検及び修繕 ・遊具の点検 定期的に実施 ・遊具の原検 定期的に実施 ・遊具の修繕 随時実施 (2)防犯点検の結果による改善 周りから公園の中が見渡せ、「死角」のない公園にする。 ・市で改善できるもの(低木剪定等) ・業者委託で改善できるもの(高木剪定等)
村公園維持管理事業	〇農村居住者の健康増進と憩いの場を提供するため、また児童 が安心して遊べるよう、遊具の安全点検や清掃等の維持管理を 行います。	農山村振興課	遊具の安全点検や清掃等の維持管理等を行いました。	遊具の安全点検や清掃等の維持管理等を行いました。

2. 犯罪・交通事故等のない安全なまちづくりの推進

施策名	施策内容	所属部署	各課の実施状況(平成29年度)	各課の実施状況(平成28年度)
交通安全施設事業	〇児童等の交通安全のため、カーブミラー・区画線・ガード レールを整備します。	道路河川課	カーブミラー新設15基、区画線26,046.5mを整備しました。	カーブミラー新設25基、区画線21,929m、ガードレール137mを整備しました。
交通安全教育事業	〇交通安全意識高揚のため、市内保育園等で交通安全教室を開催しています。 (では、) では、	交通生活課	交通安全教室開催数(園児、児童対象)35回 1,953人	交通安全教室開催数(園児、児童対象)34回 2,096人
交通指導員設置事業	〇児童の登下校時の安全確保のため、通学路上の特に必要な箇所に交通指導員を設置し交通指導をします。	交通生活課	交通指導員が朝の通学時間帯に市内の通学路に立哨し、児童等に対し交通指導を行いました。 交通指導員数 59名	交通指導員が朝の通学時間帯に市内の通学路に立附し、児童等に対し交通指導を行いました。 交通指導員数 59名

3. 子どもを取り巻く有害環境対策などの推進

施策名	施策内容	所属部署	各課の実施状況(平成29年度)	各課の実施状況(平成28年度)
青少年健全育成市民啓発事業	〇青少年健全育成強化月間にあわせ、他の団体と連携・協力 し、街頭啓発活動を中心に青少年健全育成啓発を実施し、市民 の意識高揚を図ります。	少年指導セン ター	12/9 心豊かな青少年を育む市民のつどいにおいて、青少年健全育成啓発物品を配布し、啓発活動を行った。	12/3 心豊かな青少年を育む市民のつどいにおいて、青少年健全育成啓発物品を配布し、啓発活動を行った。
街頭補導実施事業	〇少年補導員による街頭補導活動や青少年を取り巻く環境の浄化活動により、青少年の非行防止及び非行の早期発見に努めます。		【定例街頭補導】 月~金曜日の内、 ① 午後2時~午後4時 ② 午後4時30分~午後6時30分 ③ 午後5時30分~午後7時30分 の、時間帯で実施しました。 【特別補導】 ①JR両毛線(岩舟駅~足利駅)及び東武佐野線(葛生駅~館林駅)での列車補導を実施しました。 ②秀郷まつりやえびす講等開催時に街頭補導を実施しました。 【環境浄化】 市内に設置してある図書等自動販売機の一斉調査を実施した。 ・少年補導員 75名、20班	【定例街頭補導】 月~金曜日の内、 ① 午後2時~午後4時 ② 午後4時30分~午後6時30分 ③ 午後5時30分~午後7時30分 の、時間帯で実施しました。 【特別補導】 ①JR両毛線(岩舟駅~足利駅)及び東武佐野線(葛生駅~館林駅)での列車補導を実施しました。 ②秀郷まつりやえびす講等開催時に街頭補導を実施しました。 【環境浄化】 市内に設置してある図書等自動販売機の一斉調査を実施した。 ・少年補導員 78名、20班

基本目標5. 子どもの人権擁護の推進

1. 人権教育の推進

施策名	施策内容	所属部署	各課の実施状況(平成29年度)	各課の実施状況(平成28年度)
究推進事業	〇人権教育研究指定校を指定し、学校教育における人権教育の 在り方を研究します。その研究成果を市内小中学校に発表し、 各学校の人権教育の充実を図ります。	学校教育課	西中学校、葛生小学校、多田小学校が研究学校として研究を進めました。西中学校は 11月24日に研究発表会を実施しました。	犬伏東小学校、西中学校、葛生小学校が研究学校として研究を進めました。犬伏東小学校は11月22日に研究発表会を実施しました。
	〇小・中学生を対象に基礎学力の向上、科学的、合理的な見方、考え方を育て、人権尊重の精神を培い、心の豊かさと自主的な行動力の育成を図ります。	生涯学習課	学習回数 小学生 7集会所各18回(年)1集会所17回(年)実施中学生 4集会所各18回(年)2集会所17回(年)実施	学習回数 小学生 7集会所各18回(年)1集会所16回(年)実施中学生 4集会所各18回、17回、16回、14回(年)実施
	〇子どもの人権と虐待問題を考え、支援・援助することの大切 さについて啓発を行います。		(各集会所ごとにテーマを決めて人権学習会を行っているが、平成29年度は子どもの 人権に関する学習会を行った集会所はありませんでした。平成30年度は、1集会所で	

2. いじめ・不登校などへの対応

施策名	施策内容	所属部署	各課の実施状況(平成29年度)	各課の実施状況(平成28年度)
スクーリング・サポート・ ネットワーク事業	〇教育センターにスクーリングサポーターを配置し、不登校児 童生徒及び特別な教育的支援を必要とする児童生徒への支援を 行います。	教育センター		教育センターにスクーリング・サポーターを2名配置し、市適応指導教室(アクティブ教室)や市教育相談員との連携による不登校児童生徒への対応及び、在籍学校との連携のもと不登校児童生徒への訪問指導、特別な教育的支援を必要とする児童生徒の巡回相談等を実施しました。 勤務 6時間/日、週2日、延べ年間70日 家庭訪問等回数 118回 巡回相談等件数 67件
教育相談事業	〇幼児及び児童生徒の心身の健全な育成を図るため、教育上の問題や悩みを持つ児童生徒及び保護者等を対象に教育相談を実施し、問題解決への援助を行います。	教育センター	専門の相談員(医師、幼稚園長等)と教育センター所員2名(うち1名は臨床心理士)が、教育相談等を実施しました。 相談件数(4~3月) 電話及び面談による相談 117回 巡回相談等による学校支援等 148回	専門の相談員(医師、幼稚園長等)と教育センター所員2名(うち1名は臨床心理士)が、教育相談等を実施しました。相談件数(4~3月)電話及び面談による相談 98回巡回相談等による学校支援等 87回